再評価結果 (平成20年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局 国道・防災課

担当課長名:下保 修

事業概要 一般国道507号は、沖縄県南部地域の中央部を縦貫し、那覇空港自動車道と国道329号 那覇東バイパスに連結する幹線道路である。現道は幅員狭小、線形不良により慢性的な渋滞が発生していることから、バイパスの整備により、交通渋滞の緩和と那覇空港・那覇港へのアクセス性の向上を図る目的で整備を進めている。当該事業区間は、延長5.28kmの4車線道路である。

H2年度事業化 H2年度都市計画決定 H2年度用地着手 H5年度工事着手 (H5年度変更)

全体事業費 396億円 事業進捗率 88% 供用済延長 2.5km

計画交通量 40,500台/日

 費用対効果
 B / C |

 分析結果
 (事業全体) 4.8

(残事業) 162

総費用」 (残事業)/(事業全体) 9.5/495億円

事 業 費: 5.0/490億円 維持管理費: 4.6/4.6億円 総<u>便益</u>」 (残事業)/(事業全体) 1545/2394 億円

走行時間短縮便益: 1498/2277 億円 走行経費減少便益: 41/91 億円

交通事故減少便益: 41/91 億円

事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保 (現道における混雑時旅行速度が20km未満である区間の改善)
- ・個性有る地域の形成(那覇市から平和祈念公園まで約13分短縮)

他フ項目に該当

基準年

平成19年

関係する地方公共団体等の意見

平成18年11月1日に沖縄県島尻郡八重瀬町から早期整備の要請が出ている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 合併し八重瀬町が誕生し、新町建設計画において国道507号沿道の計画的な土地利用、商業空間の創出などが記された。関連する土地区画整理事業の進展に伴い沿道沿いに大型商業店舗が進出した。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成19年度末には事業費ベースでの進捗が91%となる見込みである。平成20年度はトンネル1基の整備とともに、改良工事の促進を図る。 L=2. 5km 4/4供用済み。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・関連する3地区の土地区画整理事業の進捗の遅れ並びに用地交渉難航により遅れている。
- ・平成21年度までに用地買収を完了し、平成23年度までに全線の供用開始を図る。

施設の構造や工法の変更等

トンネルの断面計上変更により歩道幅員を縮小 (3.5m→2.0m)

対応方針 : 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考える。

事業概要図



凡 例		
供用中		
事業中		
再評価対象事業		
	うち供用中	
調査中		000000

